

令和7年2月25日

PTA会員の皆さま

世田谷区立千歳小学校  
PTA会長 芹澤美智子  
家庭教育学級委員長 宮川靖子

## 令和6年度 家庭教育学級 開催のご報告

向春の候、PTA 会員の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2月6日に『小学生の親として知っておきたいお金の話』を Zoom にて開催いたしました。

講師には、八木陽子先生をお招きしました。

「お金教育やキャリア教育」について、皆様から質問いただいた「おこづかい、お年玉、キャッシュレス」などを中心に、分かりやすく丁寧に教えていただきました。

### 【講師の紹介】

八木陽子（やぎようこ）  
株式会社イー・カンパニー代表取締役  
キッズ・マネー・ステーション代表  
ファイナンシャルプランナー、キャリアコンサルタント  
2005 年からお金教育・キャリア教育を普及する  
「キッズ・マネー・ステーション」を主宰。  
著作や監修した書籍は、「10歳から知っておきたいお金の心得」  
「マンガでカンタン！ お金と経済の基本は7日間でわかります。」など多数。

### 講座内容

#### 1. 今、お金教育やキャリア教育が必要な理由

##### ① 社会構造の変化

企業、国の制度が変化、自身での運用も必要、金融決済の変化（キャッシュレス）

##### ② 家庭環境の変化

ライフスタイルが変化（ネット・宅配での買い物）

ネット購入、生体認証で物が買える

##### ③ お金のトラブルの増加

ネット取引、課金、悪質商法、架空請求

18歳から自己責任となる時代

・18歳から借金が可能

・18歳から契約当事者に

借金とは？契約とは？

を知る必要がある

#### 2. お金教育やキャリア教育とは

HOP!

お金について話そう！ 絵本で伝えよう！

オーストラリアやアメリカでは、小学生が「お金を稼ぐ」授業や体験がある

一方で、日本ではお金の話がタブー視されているため、伝えることが必要

「お金」のことを伝える絵本や児童書が増えている

## STEP!

### おこづかいで金の管理をしよう！

おこづかい契約書で、目的ごとに予算を決めておこづかいを運用する

自分のために使うお金だけでなく、人のために使うお金と貯金を考えることも大事

メリット・デメリット

定額制 →親が稼いだお金であること、どうして親があげられるのか背景を話す

報酬制 →労働の対価を知ることができるが、家族としてやって当たり前であることを伝える必要がある

☆大切なのは内訳を考えてもらうこと

### キャッシュレスのおこづかい

キャッシュレスを上手に使う経験が必要

「現金と同じ」であることを理解する。利用目的・金額を決める。一緒に履歴をチェックする。

### お年玉の取り扱い

一部を子供に渡す、教育資金として親の口座に入れる、子供名義の貯金、の3つに分ける。

☆大切なのは、お年玉をきっかけに「お金」の話をする事！

### トラブル

子供同士のトラブルや、価値観の違う他のご家庭との兼ね合い。

100円200円のうちから、お金の大切さを話す。渡したお金の使用目的をちゃんと話す。

起こりうるトラブルを未然に防ぐことは不可能。その都度対応できる家庭内の地盤を作る。

#### おこづかいを成功させる5つのポイント

- 1) 徐々にステップアップする
- 2) 貯めるだけでなく、使う楽しさを知る
- 3) おこづかい帳は無理につけない
- 4) 家庭内でルールをつくる
- 5) 子供時代の失敗が、大人になってからの成功につながる

## JUMP!

### 将来のことを考える

働くこととは、喜んでもらったり、困ったことを解決したり、役に立つこと

お金=ありがとう！ 感謝されること

### 3. まとめ

お金や仕事を考えることは、これからの人生や家族との生活を見つめなおす作業。

今、「お金」と向き合うことで、家族の絆を深めていきましょう。

●講演後のアンケートでは、

- ・とてもわかりやすかったです。手元きたお金をどのように使い分けるかも大変参考になりました。お年玉や誕生日プレゼントも子どものLINEに電子マネーやギフトチケットで送られてくるが増えているところだったので、改めてお金の扱いについて考えるきっかけとなりました。
- ・海外の事例や、現代に沿った具体的な内容のご紹介や、年齢が上がった時の事例などもとても参考になります。時代的にも多様な側面から考えてやりとりしていく必要があるのだと改めて知ることができました。
- ・講座を聞いていて、うちは今、おこづかい制ですが、外で遊んだり買ったりする時はお金を出してあげてしまうので、自分でやりくりするという練習になっていないなと思いました。講座の中で紹介していた契約書を使って、もう少し、親の私の方がしっかりやりたいと思います。
- ・お年玉の取り扱いでお金を3つに分けて管理するといった話など、すぐに取り入れることができそうです。高学年になるので子どもの口座を作って管理させてみようと思います。お金の話をもっと子どもとしていきたいです。
- ・海外の子供たちのお金の感覚というか、接し方はとても参考になりました。お国柄なのだと思いますが、生活の上でお金は絶対的に必要なもの。幼いうちから正しい知識、体験を通して学んでいく海外の考えかたは賛成です。
- ・我が家はお小遣いを貯めて使いたがらないところがあり、なんだかんだ親が払っていることが多く、本人なりの使い道を考えさせることが必要だなと感じました。お年玉は全額貯金していますが、大きな金額がもらえるタイミングで欲しいものを買える経験も必要なんだと発見でした。
- ・貴重なお話をありがとうございました。とてもわかりやすく、八木先生がお子さんとやってこられたことがとても参考になりました。具体的な方法を教えていただけたので早速実践したいと思いました。

という声をいただきました。

アンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。